

市政に関する

一般質問の概要

杉久保第10分団器具置場 建て替え計画は

新政海クラブ 藤澤 菊枝



問：分団器具置場は、地域防災の要となるもので、消防団活動を行っていくためには、無くてはならないものです。市として、分団器具置場に関し、どのように基本的考え方を持ち、今後建て替えをどのように推進していくのか伺います。

また、杉久保地区の第10分団器具置場は23年度に移転、建て替える計画で進んでいますが、計画の経緯と概要を伺います。

答（市長）：分団器具置場は単に消防ポンプ車を格納する場所にとどまらず、分団活動や災害時の地域の防災拠点になるものと考えていますが、計画の経緯と概要を伺います。

市の対応は 高層マンション建て替え問題

民主党・無所属クラブ 外村 昭



問：本市は、県央地域の中でもマンションが多く存在する市です。マンションのような集合住宅は、さまざまな年齢層が入居しております、規模が大きく

転先は、平坦な土地で交通量も少なく、災害出場時の安全性が確保されると想われます。また、各地区へのアクセスも良く、杉久保・上河内地区の防災拠点となり得るものと考えています。現在、移転先が駐車場などをとして使用しているため関係者と調整を図っています。

答（市長）：分団器具置場は単に消防ポンプ車を格納する場所にとどまらず、分団活動や災害時の地域の防災拠点になるものと考えていますが、計画の経緯と概要を伺います。

また、秋葉広島市長が、向けての取り組みについて伺います。

答（市長）：5月の核拡散防止条約再検討会議で「核兵器のない世界」の実現という目標と将来に向けた行動計画が盛り込まれた文書が採択され、一定の成果があつたと考えます。

また、秋葉広島市長が、向けての取り組みについて伺います。

9月15日、16日に議員21名が市の考え方をただしました。主な質問、答弁の要旨を紹介します。

平和行政の充実に 向けて

日本共産党 佐々木 弘



問：市は4月、平和市長会議に加盟したところですが、核兵器廃絶と平和をめぐる世界と国内の情勢をどう考えるか伺います。

答（市民協働部長）：市では毎年8月と12月に懸垂幕で平和都市宣言を周知し、「平和講演会」、「平和のつどい」などを開催し、平和への啓発を図っています。さらに22年8月には「平和映画会」でパネル展示と被爆体験のお話もし実施しました。23年度以降もさらに充実した企画を研究していきます。

答（市民協働部長）：市では毎年8月と12月に懸垂幕で平和都市宣言を周知し、「平和講演会」、「平和のつどい」などを開催し、平和への啓発を図っています。さらに22年8月には「平和映画会」でパネル展示と被爆体験のお話もし実施しました。23年度以降もさらに充実した企画を研究していきます。

市内に養護学校の設置を

海政会 飯田 英榮



問：障がいのある児童生徒は座間養護学校をはじめ伊勢原市、相模原市などの市外に通学していますが、市内に養護学校を設置してほしいとの要望が市内関係団体からあります。本市を

答（教育長）：養護学校は、在籍する児童生徒への教育活動のみならず、地域の幼稚園、小・中・高等学校に在籍する児童生徒へ助言支援を行う「センター機能」も担わなければならぬため、県に対し強く設置へ通学している状況、定員を要望しています。

答（市長）：これまでの取り組みを評価され、ラモン・マグサイサ

D) の操作など10項目にわたり内容で少年少女消防体験研修会を実施しました。研修後のアンケートでは、多くの児童生徒が、また参

加したいと回答をし、消防に対する関心の高さが伺える結果でした。

99%の児童生徒が、また参

加したいと回答をし、消防

に対する関心の高さが伺え

ています。

早期設立を望む 少年消防クラブ

新政海クラブ 森下 賢人



問：21年度から夏休み期間に試行実施している「少年少女消防体験研修会」の内容と2回の試行を終えて「少年消防クラブ」設立の考えがあるか伺います。

答（市長）：災害に強い安全・安心な社会をつくるためには、市民一人ひとりの防災意識の向上が不可欠

です。防災意識の高揚を図る取り組みとして、子どもたちが市外の養護学校へ通学している状況、定員を要望しています。

答（市長）：ご指摘のとおり重度の障がいがある子どもたちが市外の養護学校へ通学している状況、定員を要望しています。

答（市長）：北海道登別市からやつてくるポニーについて、活用方法、ふれあいミニ動物園の開園をどう考えていくか伺います。

答（市長）：10月初旬をめどにポニーを受け入れら

れるよう準備をしています。

答（市長室長）：10月24日の命名式のほか3回程度

イベントに参加し市民とふ

れるよう準備をしています。

答（市長室長）：10月24日の命名式のほか3回程度

イベントに参加し市民とふ